



岩手労働局発表
平成30年1月15日

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 小田 昭信
主任衛生専門官 福田 利文
(電話) 019 - 604 - 3007

平成29年1月～12月分(速報値)の 労働災害発生状況を公表します

～平成29年(1月～12月)の死傷者数は、前年同期比2.7%の増加～

岩手労働局(局長 久古谷 敏行)は、平成29年12月の県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成29年1月～12月(12月末現在の速報値)の死傷者数は1,237人で、前年同期比で32人(2.7%)の増加、死亡者数は23人となり、前年同期比で5人(27.8%)の増加となっています。

(注)本速報値は平成30年3月末までに届出のあった労働者死傷病報告による確定値により更新されます。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

平成29年1月～12月の労働災害発生状況(平成29年12月末現在 速報値)

- 1 死傷災害(休業4日以上)【表1】(P.3) 【グラフ1】(P.6) 【グラフ2】(P.7)
 - (1) 全業種合計
全業種合計の死傷者数は1,237人で、前年同期比で32人、2.7%の増加となっています。
 - (2) 業種別の状況
前年同期比で増加した業種は、「通信業」23人(前年同期比+9人、+64.3%)、「畜産・水産業」47人(同+8人、+20.5%)、「運輸交通業」130

人（同 + 7 人、 + 5.7%）、「建設業」260 人（同 + 6 人、 + 2.4%）、「保健衛生業」101 人（同 + 5 人、 + 5.2%）などとなっています。

前年同期比で減少した業種は、「農林業」65 人（同 - 8 人、 - 11.0%）、「製造業」254 人（同 - 2 人、 - 0.8%）、「接客娯楽業」68 人（同 - 2 人、 - 2.9%）、「鉱業」5 人（同 - 2 人、 - 28.6%）などとなっています。

（ 3 ）事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、301 人（24.3%）となっています。次いで、「墜落・転落」225 人（18.2%）、「はさまれ・巻き込まれ」142 人（11.5%）となっています。

2 死亡災害 【表 2】(P. 4) 【表 3】(P. 5)

（ 1 ）全業種合計の死亡者数は 23 人で、前年同期（12 月 31 日までに報告のあった人数）比で 5 人（27.8%）増加しました。

（ 2 ）業種別の状況

業種別では、「建設業」で 8 人、「林業」で 4 人、「製造業」で 3 人、「運輸業」で 3 人、「接客娯楽業」で 2 人、「畜産・水産業」、「商業」、「その他の事業」で各 1 人となっています。

【表1】

労働災害発生状況 (休業4日以上の死傷者数)

平成29年 1月～12月

岩手労働局

業種	岩手局		増減数	増減率	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
	29年	28年										
製造業	食料	21 (1)	-1	-4.5%		4 (1)	7			8	2	
	水産食料品											
	上記以外の食料品	79	76	3	3.9%	25		27	13	4	10	
	繊維・衣服その他繊維製品	8	13	-5	-38.5%			1	5			
	木材・木製品、家具・装備品	30	30	0	0.0%	9		1	6		3	
	パルプ・紙、印刷・製本	7	2	5	250.0%	1			3	3		
	化学工業	13	21	-8	-38.1%	1		2	5	2	2	
	窯業土石	11	15 (1)	-4	-26.7%	1			4	6		
	鉄鋼業、非鉄金属	11	9	2	22.2%	2		2	4	3		
	金属製品	21 (1)	31 (1)	-10	-32.3%	11	1		6 (1)	2	1	
建設業	一般機械器具	9	7	2	28.6%		1		6	2		
	電気機械器具	9 (1)	7	2	28.6%	1 (1)		5	1		2	
	輸送用機械製造	8	12	-4	-33.3%			5	5	2	1	
	電気・力入	1		1					1	1		
	その他の製造	26	11	15	136.4%	7	5	3	7	1	3	
	小計	254 (3)	256 (2)	-2	-0.8%	57	20 (2)	17	83 (1)	36	19	22
	鉱業		5	7	-2	-28.6%			1	2		2
		土木工事	92 (5)	77 (10)	15	19.5%	13 (1)		12	16	8	16
		建設業	24 (4)	29 (2)	-5	-17.2%	10 (2)		1	5	1	3 (2)
		木造家屋	63 (2)	87	-24	-27.6%	15 (1)		6 (1)	14	5	9
その他の建築工事		40 (6)	30 (5)	10	33.3%	10 (1)	5 (3)	2	14 (2)	5	1	
その他の建設		41 (8)	31 (2)	10	32.3%	17 (6)	4 (2)	1	6	6	4	
小計		260 (25)	254 (19)	6	2.4%	65 (11)	34 (8)	22 (1)	55 (2)	27 (1)	25 (2)	32
道路貨物通送業		117 (5)	114 (10)	3	2.6%	48 (2)	4		38 (3)	17	4	6
その他の運輸交通業		13 (1)	9	4	44.4%	7 (1)		2	2	1		1
貨物取扱		4							3	1		
農林業	農業	11 (1)	16	-5	-31.3%	3 (1)		1	4	2	1	
	林業	54	57	-3	-5.3%	14		5	6	4	3	
	畜産業	32	27	5	18.5%	8		2	4	3	15	
	水産業	15	12	3	25.0%		4	1			5	
	小売業	134 (12)	124 (14)	10	8.1%	66 (6)	7	7	22 (2)	14 (2)	9	9 (2)
	その他の商業	31 (1)	41 (4)	-10	-24.4%	13 (1)		2	11	1	1	2
	通信業	23 (12)	14 (4)	9	64.3%	11 (7)		1	6 (1)	2 (1)	2 (2)	1 (1)
	保健衛生業	82 (7)	79 (4)	3	3.8%	23 (2)	5	15 (1)	24 (3)	8 (1)	2	5
	その他の保健衛生業	19 (2)	17	2	11.8%	12 (2)	2	1	2	1	2	2
	接客業	22 (1)	22	0	0.0%	15 (1)	1	1	3	1	1	1
娯楽業	25 (1)	29	-4	-13.8%	12	2	2	5 (1)	3	3	1	
その他の接客娯楽業	21 (1)	19	2	10.5%	9 (1)			8	1	1	2	
ビルメンテナンス業	29 (1)	22	7	31.8%	16	4	2	2 (1)	3	2	2	
その他(上記以外の全ての業種)	86 (9)	86 (8)	0	0.0%	42 (3)	1 (1)	3	12 (1)	5	5	18 (4)	
合計	⑳ 1,237 (82)	1,205 (65)	32	2.7%	421 (38)	96 (11)	83 (2)	291 (15)	128 (5)	80 (4)	138 (7)	
前年同期					410	85	82	266	142	79	141	
増減数					11	11	1	25	-14	1	-3	
増減率					2.7%	12.9%	1.2%	9.4%	-9.9%	1.3%	-2.1%	

(注)平成29年12月末の速報値である。
数字は死亡者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。

番号	署別	業種	発生日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	宮古	建設業 (港湾海岸工事業)	1月	火男	60歳代 (20年以上 30年未満)	激突され	移動式クレーン	クローラークレーン(200t)のジブの起伏ドラムに巻かれているワイヤーロープが乱巻きとなったので、ドラム付近で直していたところ、突然ジブが降りし、たるんでいた起伏ワイヤーが張り、頭部に直撃した。
2	二戸	農林業 (木材伐出業)	2月	火男	60歳代 (1年以上 10年未満)	激突され	立木等	伐木作業中の被災者が伐倒木(ナラの木、全長22.75m、胸高直径50cm)の下敷きになっているのが発見され、病院に搬送されたが脳挫傷により死亡した。
3	盛岡	接客娯楽業 (その他)	2月	火男	50歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、 転落	建築物、 構築物	建物5階の屋上で作業中、屋上の端から地上に墜落(高さ15m)した。
4	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	4月	木男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	移動式クレーン	被災者は、最大積載量10トンの車両積載形トラッククレーンに住宅用資材を積載し、新築住宅工事現場に向かったが、作業場所が狭隘であったため、近くの駐車場にて、最大積載量3.75トンの車両積載形トラッククレーンに資材を積み替える作業を行っていた。作業を開始してもまもなく、通行人がうつ伏せで倒れていた被災者を発見、救急搬送されたが、翌日死亡した。
5	花巻	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	4月	木男	40歳代 (10年以上 20年未満)	交通事故 (道路)	トラック	千葉県から岩手県に荷物を運搬するため、常磐自動車道下り線を走行していた被災者の運転する大型トラックが、対向車線にはみ出し、同自動車道下り線を走行していたダンプトラックと正面衝突した。
6	花巻	製造業 (セメント・ 同製品製造業)	4月	土男	30歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	建築物、 構築物	プラントの貯蔵びん内補修工事に立ち会っていた被災者が、ホッパーの排出ゲートが開いた状態で排出されなかった骨材(砂)をスコップでほくす作業を行っていたところ、砂に埋まり死亡した。
7	二戸	建設業 (その他の土木工事業)	7月	木男	60歳代 (50年以上 60年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	移動式クレーン	側溝配水管敷設工事において、積載型トラックでリ字型側溝(長さ2m、重さ350kg)2個を玉掛けし、ジブを起こしたところ、トラックが転倒。アウトリガーと荷台の間に挟まれた。
8	盛岡	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業)	7月	月男	30歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	屋根、はり、 もや、けた、 合掌	3階建て建物建設工事の鉄骨建方作業中、梁または昇降タラップから地上に(約8m)墜落した。
9	宮古	建設業 (その他の建築工事業)	8月	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク	建築工事に使用する鉄筋を滝沢市内の加工場で加工するため、労働者3名が乗用車に同乗し、宮古市から国道を西進中、車両が道路から逸脱、道路脇の川に転落、下流で3名の遺体が発見された。 前日から当日未明まで大雨が降り、路面が濡れていたほか、川は増水していた。
金男				20歳代 (1年以上 10年未満)				
男				10歳代 (1年未満)				
12	花巻	農林業 (木材伐出業)	9月	土男	60歳代 (1年未満)	激突され	立木等	樹高15m(胸高直径30cm)のナラの木をチェーンソーで伐倒作業中、追い切りをしていた際、木が縦に裂け、裂けた部分が天秤状になった後、高さ3.9mから折れて落下し、被災者に激突した。
13	大船渡	農林業 (木材伐出業)	9月	月男	70歳代 (10年以上 20年未満)	激突され	立木等	斜度40度の山林で、伐採作業中にかかり木が発生した。かかっている赤松(樹高18m、胸高直径45cm)を伐倒したことにより、かかっていた杉(樹高18m、胸高直径18cm)が被災者に激突した。(推定)
14	二戸	畜産・水産業 (畜産業)	9月	木男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	はしご等	物置小屋の増設作業で軒高2.7mの屋根に長さ3mのはしごを立て掛け、角材とブルーシートを持ってはしごを登っていたところ、アスファルト舗装の地面に墜落した。病院で療養中のところ、10月に死亡した。
15	花巻	商業 (燃料小売業)	10月	水男	60歳代 (30年以上 40年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク	営業所から社用車を運転して客先に向かっていたところ、車道左側に逸脱し、電柱に激突した。
16	花巻	製造業 (自動車整備業)	10月	金男	40歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 建設機械等	洗車場でロータリー除雪車を清掃中、回転していたオーガにホースが絡まり、被災者もオーガに巻き込まれた。
17	花巻	建設業 (木造家屋建築工事業)	10月	金男	50歳代 (30年以上 40年未満)	墜落、 転落	屋根、はり、 もや、けた、 合掌	2階梁上で床下地材を敷く作業中、バランスを崩し、約3.6m下の1階基礎コンクリート部分に転落した。
18	宮古	製造業 (製材業)	11月	火男	50歳代 (1年未満)	崩壊、 倒壊	玉掛用具	新築工事現場に自社制作の木製パネルを納入するため、金属棒に複数のパネルを収納し、トラックの荷台から移動式クレーンで吊り上げたところ、金属棒の連結部分が外れ、パネルが落下、パネルを運搬してきた運転手が下敷きとなった。
19	宮古	その他の事業 (警備業)	11月	土男	60歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	トラック	交通安全施設等工事における片側交互通行の交通誘導中、走行してきた2tトラックに停止合図を出したが、停車せずに誘導員をはねた。
20	釜石	農林業 (木材伐出業)	11月	月男	70歳代 (10年以上 20年未満)	崩壊、 倒壊	立木等	カラ松(直径32cm)をチェーンソーで伐倒しようとしたところ、この木にかかり木となっていたカラ松(直径35cm)が倒れ、下敷きとなった。(推定)
21	盛岡	接客娯楽業 (旅館業)	12月	木男	50歳代 (20年以上 30年未満)	転倒	通路	飲食店での業務を終え、徒歩で所属事業場へ移動中、凍結した路面で滑って転倒、頭部を地面に打った。(推定)
22	釜石	建設業 (橋梁建設工事業)	12月	月男	50歳代 (30年以上 40年未満)	墜落、 転落	開口部	コンクリート打設後の養生状況を確認するため、現場を見回りに行ったが、翌朝に橋脚に倒れているところを発見された。 約20m直上の張出足場から墜落した。(推定)
23	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	12月	火男	30歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	トラック	4tトラックに乗車し、県道を走行中、センターラインを越え対向車線を走行していたトレーラーと正面衝突した。

【表3】

平成29年 死亡災害発生状況 (事故の型別等)

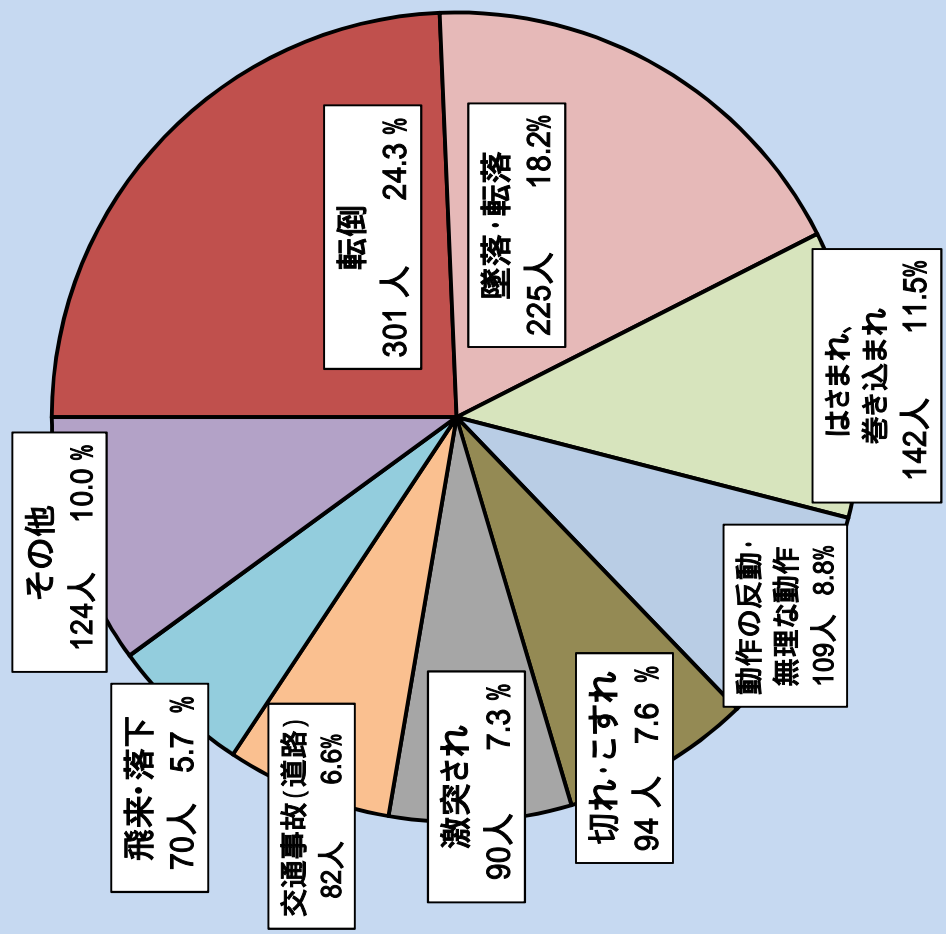
12月31日 現在

業種別	製造業 3人 (3人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 8人 (7人)	運輸業 3人 (1人)	農林業 4人 (4人)	商業 1人 (2人)	左記 以外 4人 (1人)
監督署別	盛岡 5人 (1人)	宮古 6人 (1人)	釜石 2人 (2人)	花巻 6人 (5人)	一関 0人 (1人)	大船渡 1人 (2人)	二戸 3人 (6人)
事故の型別	墜落・ 転落 7人 (5人)	転倒 1人 (0人)	飛来・ 落下 0人 (1人)	崩壊・ 倒壊 2人 (2人)	激突 され 4人 (2人)	はさまれ・ 巻き込まれ 2人 (3人)	切れ・ こすれ 0人 (0人)
	破裂 0人 (1人)	高温の物 との接触 0人 (1人)	激突 0人 (1人)	感電 0人 (0人)	有害物 等との 接触 0人 (0人)	交通事故 7人 (1人)	その他 0人 (1人)

23人
(前年同期18人)

注：()内は前年同期 (12月31日 までに報告があったもの。)

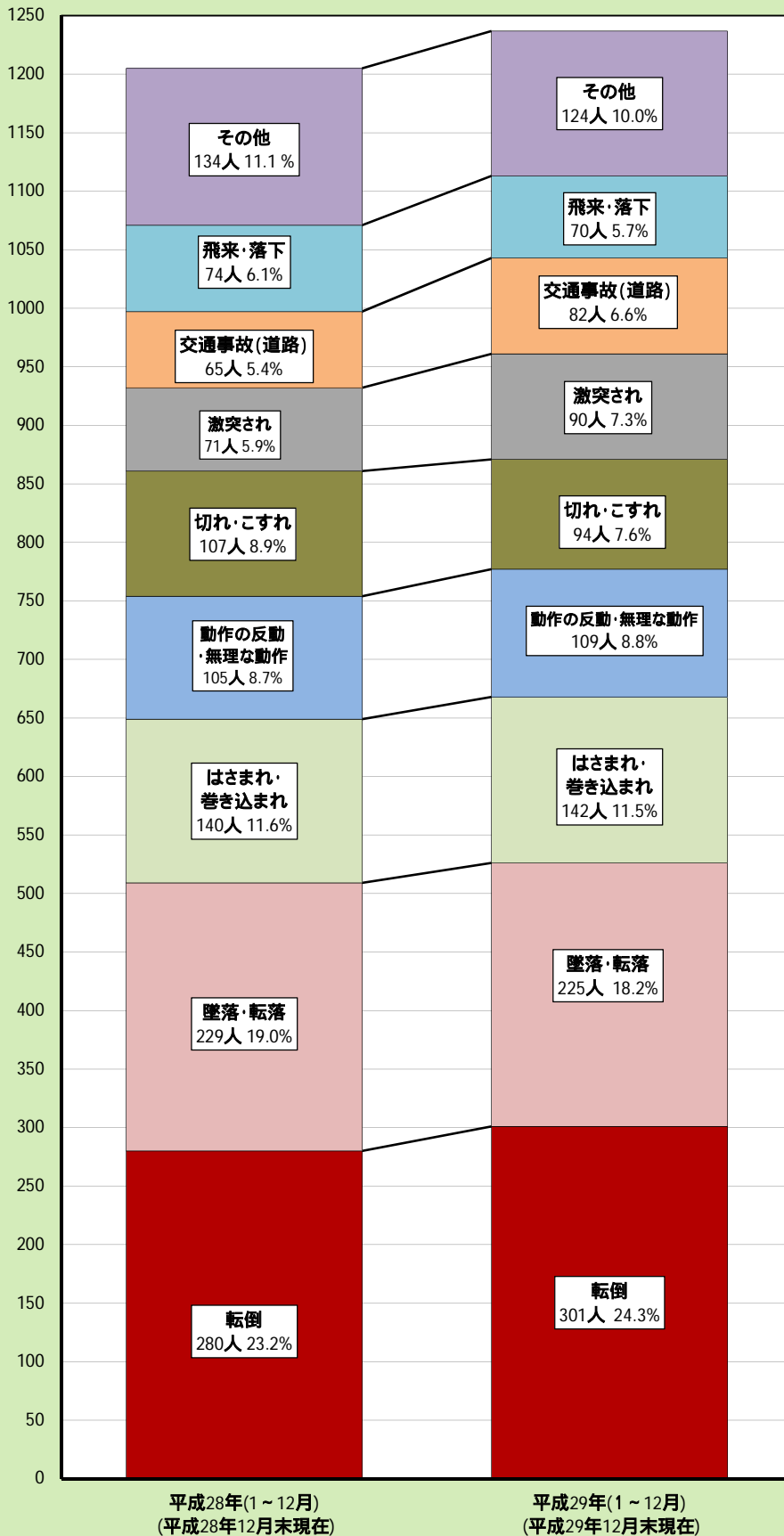
【グラフ1】 平成29年1月～12月 労働災害発生状況（事故の型別）
岩手労働局



平成29年12月末の速報値である。

数字は死亡者数(内数)である。

【グラフ2】
平成28～29年 事故の型別労働災害発生状況



【参考】

労働災害発生状況

平成29年（平成29年12月末統計）

岩手労働局

業種	当年累計	前年同期	対前年同期増減率															
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
製造業	水産食料品	21 (1)	-1	3	1	4	4	3	1	4	4	3	3	3	3	1	2	3 (1)
	食料品	79	3	9	9	4	4	7	4	7	4	13	9	5	4	9	2	
	上記以外の食料品	8	-5	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3
	繊維・衣服その他繊維製品	30	0	4	4	4	4	4	3	3	3	1	1	2	4	1	1	3
	木材・木製品、家具・装備品	7	5	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	1	1
	パルプ・紙、印刷・製本	13	21	-8	-38.1%	3	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1
	化学工業	11	15 (1)	-4	-26.7%	1	1	2	3	1	1	1	1	3	3	1	1	1
	窯業土石	11	9	2	22.2%	1	2	1	1	4	4	1	1	1	1	1	1	2
	鉄鋼業、非鉄金属	21 (1)	31 (1)	-10	-32.3%	2 (1)	4	1	4	1	1	1	2	1	1	3	1	1
	金属製品	9	7	2	28.6%	1	1	2	2	1	1	3	1	1	1	1	1	1
	一般機械器具	9 (1)	7	2	28.6%	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	1	1 (1)	1
	電気機械器具	8	12	-4	-33.3%	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	輸送用機械製造	1	1	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
電気・ガス	26	11	15	136.4%	2	2	5	2	1	2	4	2	2	3	2	2	1	
その他の製造	254 (3)	256 (2)	-2	-0.8%	24 (1)	30	25	27	16	1	14	22	19	18	17 (1)	13 (1)	13 (1)	
小計	5	7	-2	-28.6%	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
建設業	土木工事	92 (5)	77 (10)	15	19.5%	7	12	8	7	7	6 (1)	10 (1)	7	4	11 (2)	5	8 (1)	
	鉄骨・鉄筋家屋	24 (4)	29 (2)	-5	-17.2%	1	2	2 (2)	3	2	2	5	5	5 (2)	2	1	1	
	建築工事	63 (2)	87	-24	-27.6%	3 (1)	2	5	7	8 (1)	3	10	5	5	6	5	4	
	木造家屋	40 (6)	30 (5)	10	33.3%	3	4 (1)	4	3	4	4	3	5	3	5	1	1	
	その他の建築工事	41 (8)	31 (2)	10	32.3%	4	2	1	3	3	7	10 (5)	4 (1)	4 (2)	3	3	3	
	その他の建設	260 (25)	254 (19)	6	2.4%	18 (1)	22 (1)	20 (2)	23	24 (1)	20 (1)	38 (6)	21 (1)	21 (4)	24 (2)	15	14 (1)	
	小計	117 (5)	114 (10)	3	2.6%	14 (1)	11	10	7 (1)	9	7 (1)	9 (2)	10	9	16	6	12 (1)	
	道路貨物運送業	13 (1)	9	4	44.4%	2	1	1	1 (1)	1	1	1	1	2	2	2	1	1
	その他の運輸交通業	4				1			1									
	貨物取扱	11 (1)	16	-5	-31.3%	3 (1)							3	1	2			
	農業	54	57	-3	-5.3%	4	8	1	3	6	6	1	5	5	6	7	5	3
	林業	32	27	5	18.5%	1	3	3	4	4	2	2	4	1	4	2	2	2
	畜産	15	12	3	25.0%	2	2	1	1	1	1	3	1	1	2	2	2	2
水産業	134 (12)	124 (14)	10	8.1%	19 (2)	16 (1)	11	12	9	9	6 (1)	10 (1)	11 (2)	17 (1)	13 (3)	6	4 (1)	
小売業	31 (1)	41 (4)	-10	-24.4%	4	4	2	2	3	3	3	2	4 (1)	5	2	1	1	
その他の商業	23 (12)	14 (4)	9	64.3%	6 (3)	2	2 (2)	2	2	2	2 (1)	3 (3)	2	2	4 (2)	2 (1)	3	
通信業	82 (7)	79 (4)	3	3.8%	15 (2)	12	5 (1)	7 (1)	8 (1)	8 (1)	4	6	7 (1)	12 (1)	2	1	3	
保健衛生業	19 (2)	17	2	11.8%	2	6 (2)	2	2	2	2	3	3	1	3	1	1	1	
社会福祉施設	22 (1)	22	0	0.0%	2	2	1	2	1	1	3	3	5 (1)	1	1	2	2	
その他の保健衛生業	25 (1)	29	-4	-13.8%	1	2	2	1	5	3	3	3	3	3	1 (1)	1	1	
接客	21 (1)	19	2	10.5%	3	5	2 (1)	2	2	2	2	1	1	2	2	2	1	
娯楽業	29 (1)	22	7	31.8%	1	7	2	1	1	1	1	2	5	1	1	5	1	
ビルメンテナンス業	86 (9)	86 (8)	0	0.0%	11 (1)	7	9 (1)	7	8	8	8 (2)	6	4	7	6	6 (1)	7 (4)	
その他の(上記以外の全ての業種)	1,237 (82)	1,205 (65)	32	2.7%	133 (12)	139 (4)	99 (7)	99 (3)	97 (2)	79 (7)	132 (10)	96 (5)	129 (7)	96 (8)	74 (4)	64 (8)	64 (8)	
合計																		

(注) 労働者死傷報告による休業4日以上の統計である。()内は死亡者数(内数)である。()内は交通労働災害者数(内数)である。